

景況レポート

(4月分・情報連絡員80名)

非製造業の売上が大幅に悪化

～消費税増税前の駆け込み需要による反動減～

【概況】4月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが15.0%(前月調査18.8%)、「悪化」が41.3%(同25.0%)で、業界全体のDI値は-26.3となり、前月調査と比較して20.1ポイント下回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-12.5で前月調査と同じ。非製造業全体のDI値は-35.5となり、前月調査と比較して33.4ポイントの大幅な下げとなった。

消費税率が引き上げられ1ヶ月が経過した県内の景況は、消費税増税前の駆け込み需要の反動によって、自動車や家電等の耐久消費財は売上が減少に転じ、サービス業でも反動減により売上が減少した。また、卸売業や小売業では、消費者の購買意欲の低下を懸念する声が寄せられており、今後更なる売上低下も予測されることから、引き続き、県内景況の動向を注視していく必要がある。

(回答数：80名 回答率：100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業	☔	☁	☁	☁	☁	☁
非製造業	☔	☔	☀	☔	☔	☁

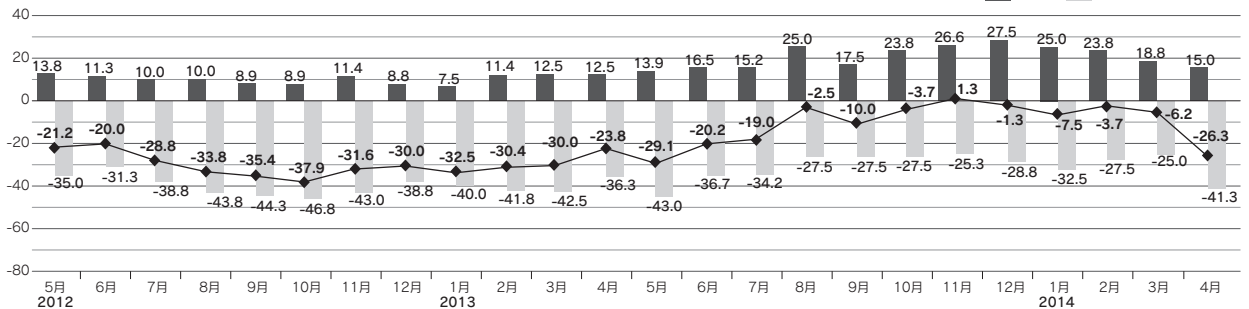
【凡例】

☀	☀	☁	☔	☔
快晴 30以上	晴れ 10以上 30未満	曇り △10以上 10未満	雨 △30超 △10未満	雷雨 △30以下

【天気図の見方】前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]

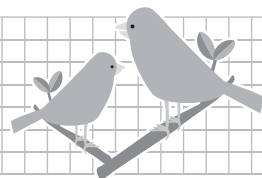


業界の声

食料品 (豆腐)	製品への消費税転嫁により、取引が減少した業者が多い。また、原料や燃料費の高騰、県外大手企業の進出により厳しい経営状況となっている。
繊維製品	紳士服は、前月と特段変化がない状況となっている。一方、婦人服は同じ品番のリピー注文が多く入り、売上増加につながった。また、前年と比較しても品番ごとの発注数量が多かったため、好調であった。
木材・木製品 (一般製材)	前月は、消費税増税前の駆け込み需要により需給バランスが崩れ、原木不足により原木価格が高騰したが、現在は量・価格ともに安定している。注引量も県外を中心に好調なことから、消費税増税の懸念はあるものの景況が好転することを期待している。
木材・木製品 (合板)	国内合板メーカーの製品在庫は低調に推移している。全体として需要は旺盛だが、製品によっては一服感がみられる。また、厚物合板に品薄感があり、同業界で製品価格は高値安定との見方が多い。
印刷	4月は、仕入、売上ともに落ち着いている状況である。昨年夏以降の電気料金の値上げが大きな負担になっているほか、消費税率引き上げに伴う料金改定が今後どこまで影響するか予測できないなど、総体的に景気が回復しているという実感はない。(中央地区)
窯業・土石 (生コンクリート)	4月の出荷数量は50,000㎡弱と前年並みであった。今年度は秋田市役所庁舎の建設や能代火力発電所3号機、横手クリーンセンター等の大型工事を控えており、平成26年度の出荷数量は前年比91.6%の734,000㎡と想定している。しかし、各地区とも原材料価格の値上がりにより厳しい経営状況となっている。
鉄鋼・金属 (鉄鋼)	4月に入り、鉄鋼需要は一服状態となっている。受注量は激減している状況であるが、6月以降は発注物件が増加すると予測している。
一般機械	受注面は、前年同月と比べ増加傾向にある。しかし、短納期物の受注はあるものの先行きが不透明なため、収益面や取引条件は依然として厳しい状況となっている。

その他の製造業 (舗装材料)	4月の出荷量は735トンにとどまり、前年同月に比べて増加したが、穴埋め工事が主であり依然として厳しい経営状況にある。また、未だに公共工事の発注がないため、予断を許さない状況となっている。
卸売(商業卸)	消費税増税前の駆け込み需要の反動が顕著で、売上は前年同月と比べ減少している。今般の反動は長期化しないと予測しているが、消費者の購買意欲低下を懸念している。
小売 (自動車販売)	4月の新車販売台数は、登録自動車が1,650台(前年同月比87.0%)、軽自動車2,192台(同91.8%)で、合計3,842台(同89.7%)であった。
小売 (石油販売)	消費税増税の影響により全ての油種が値上がり傾向にあり、価格転嫁が進んでいない状況に加え、消費税増税に伴う販売不振も相まって、苦戦を強いられている。
小売 (家電販売)	消費税増税前の駆け込み需要の反動により、売上は減少に転じた。しかし、近く到来する4Kテレビが家電業界を牽引していくのではないかと期待感をもっている。
商店街	卸、小売業界ともに、消費税増税による顧客の消費意欲の減少と消費税増税前の駆け込み需要の反動により、売上が減少している。なお、菓子類に関しては消費税増税とコンビニの攻勢により、厳しい経営状況となっている。(秋田市)
サービス (自動車整備)	消費税増税前の駆け込み需要による反動の影響を受け、自動車検査台数の売上実績は、前年同月比で16.8%と落ち込んだ。内訳は登録車が17.7%減少、軽自動車は15.5%減少となった。
建設業 (一般建築)	人員増加等の対策を講じたことで、官庁工事の入札成立に結びついているが、人件費や原材料費の値上がりにより売上が増えず採算ベースに乗らない状況となっている。
建設業 (管工事)	組合が取り扱う資材の価格について、メーカーや商社と交渉予定である。資材の値上げは極力抑えたいが、値上げを避けられない状況となっている。
運輸業 (トラック)	先月は例年にないほど荷動きが活発で、車の台数が追いつかない状況であったが、4月は荷動きが悪く、軽油価格の上昇等により収益が減少する結果となった。
その他の製造業 (砂利採取)	市役所関連の工事等が完了したため、骨材の荷動きが悪くなり、4月の売上は3割ほど落ち込む結果となった。(県南地区)

話題の広場



中央会事業より

ものづくり補助金 1次公募一次締切分採択事業所が決定

本会が地域事務局として公募した「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業補助金」の1次公募(平成26年2月17日(月)～5月14日(水))で、3月14日(金)まで受付した一次締切分については、地域採択審査委員会及び全国採択審査委員会において厳正な審査を行い、本県からは29社が採択されました。

採択された企業の皆様に対しては、去る5月9日(金)秋田市のアキタパークホテルにおいて交付申請の手続きについての説明会を開催し、今後、具体的に試作開発等に向けてスタートすることになります。

また、1次公募の二次締切(5月14日締切)分についても多数の応募があり、6月10日(火)開催の地域採択審査委員会、その後全国採択審査委員会の審査を経て、採択企業が決定されます。

【次回公募について】

ものづくり補助金の次回公募は7月中を予定しております。

1次公募で採択されなかった企業の皆様も再度チャレンジができますので、積極的にご応募下さいますようお願い申し上げます。

ものづくり補助金に関するお問い合わせ先

秋田県地域事務局 ☎018-874-9443

〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号 秋田県商工会館6階

ものづくり補助金のホームページ (<http://www.chuokai-akita.or.jp/25monozukuri/index.html>)



【交付申請説明会の様子】